

自己評価表

両開保育園

実施日 2026年 4月 1日

* 今年度の本園の保育・教育全般を総合的に評価し、次年度の保育に生かせる方向で記入すること。

<記入法方>

- ・ A・B・C・Dの4段階評価。
- ・ 項目ごとに、意見改善策を記入すること。

A：十分できている
B：ほぼできている
C：やや不十分
D：不十分

◎ 保育の計画の編成と実施に関する評価

項目	内 容	評価	意見・改善策
保育 目標に ついて	①保育目標の具現化に向け、乳幼児の実態を踏まえた重点目標を設定しているか	A	・ 地域の実態把握につとめ、特色を生かした保育目標を設定するため、日頃より地域の話題等、リサーチを怠らない。・
	②目標は施設や地域の特色を生かしているか	A	
	③目標は社会の要請や保護者の願いを反映しているか	A	
	④目標は全職員で検討し、かつ共通理解を図っているか	A	
保育 に つ い て	①指導計画は乳幼児の実態に即して作成しているか	A	・ PDCAを意識して保育の改善を行うことを、共通意識として職員間で共有している。短時間勤務の職員との共有も今まで以上に密にしていく。
	②保育所保育指針に基づく援助・支援を適切に行っているか	A	
	③環境の構成を意識した保育や過程を常に工夫しているか	A	
	④素材・用具を適切に活用しているか	A	
	⑤評価結果を基に、保育の改善に努めているか	A	
日程	①一日の流れは現行でよい（デイリープログラム等）	A	・ 実情に則した流れになっている。
行 事 に つ い て	①行事の種類や実施回数は適切か	A	・ 行事が月によって偏らないよう、事前確認を行い計画を立てる。また、狙い等がぼんやりしないよう、担当以外も意見交換を行う。
	②行事の狙いを計画や実施に十分生かしているか	A	
	③乳幼児の活動範囲を明確にし、自主的・実践的な活動にしているか	A	
	④計画・実施・評価・改善の態勢をとっているか	A	
	⑤保護者の願いや意見を取り入れているか	A	

◎ 保育の計画の編成と実施を支える諸条件に関する評価

項目		内 容	評価	意見・改善策
経 営 ・ 組 織	体 制	①能率的、合理的な運営組織になっているか	B	・朝のミーティングの内容は、確実に職員間で共有。フリー保育士は配置図の確認を怠らない。
		②職務内容が明確で、協働できる態勢になっているか	A	
		③職員の配置は適材・適所か	A	
		④係や仕事の分担・割り当ては適切か	A	
	運 営	①各種会議を適切かつ効率的に進めているか	A	・立場、職種によって、助言等が言いにくい雰囲気にならないよう配慮する
		②職員相互がそれぞれ全体的立場を理解し、協力や助言を惜しむことなく施設の運営に関わっているか	B	
		③打ち合わせ回数・時間・内容は適切か	A	
	年 齢 別 ・ ク ラ ス 経 営	①年齢別・クラス目標は、保育目標や重点目標に基づいて設定しているか	A	・短期・長期のねらいについては常に子どもの姿と考え合わせながら、変更していく必要もある。定期的な見直しを行う。 ・記録等は要点をまとめてとるようにする。
		②年齢別・クラス目標は乳幼児の実態に即し設定しているか	A	
		③年齢別・クラス目標に迫る短期・長期のねらいは適切に設定しているか	A	
		④同年齢及び異年齢間の効果的な活動の充実を図っているか	A	
		⑤意義や趣旨を理解したチーム保育を行っているか	A	
		⑥評価・資料を（諸記録）集積しているか	A	
	保 健 ・ 安 全 指 導	①年齢別・クラス経営に生かされるような具体的保健対策を講じているか	A	・家庭への啓発はタイミングよく行うことが出来ている。避難訓練や交通安全指導など、関係機関の協力を得て適切に行えた。
		②避難訓練・交通安全指導を計画に基づいて適切に実施しているか	A	
		③健康・安全な生活に必要な習慣や態度育成のため、家庭への啓発を行っているか	A	
		④乳幼児の安全確保のため、家庭・地域社会・関係機関と連携を図っているか。	A	
研 究 ・ 研 修	所 内 研 修 等	①研究主題は保育目標の具現化につながるものであるか	A	・短時間保育士等が研修できる時間・場所を確保する。また、園内研修には可能な限り多くの職員が参加出来るようにする
		②所内研修の計画・運営は適切か	A	
		③研究の成果を日常の保育に生かし、乳幼児の育ちに反映させているか	A	
		④研究の実践による乳幼児理解が深まりをみせているか	B	

項目		内 容	評価	意見・改善策
研究 研修	所外	①各種研究会・研修会・講習会への参加態勢の充実を図っているか	A	・復命書の回覧は、フリー保育士・短時間保育士まで、全員が目を通すことを徹底させる。
	研修	②各種研究会・研修会・講習会での内容を所内に還元しているか	A	
情報について		①乳幼児や保護者に関する個人情報を適正に取り扱っているか	A	・情報管理については十分に出来ている。
		②公文書收受、発送、処理を適切におこなっているか	A	
		③各表簿は、適切な時間・方法で作成しているか	A	
施設・設備		①施設内外・設備の安全点検を計画的に行っているか	A	・遊具安全点検簿を利用し、安全に遊べるようにために点検をおこなった。 ・門扉施錠の時間を徹底するようにした。
		②遊具・用具等を、活用しやすいように整理・保管しているか	A	
		③不審者に対応する周到な配慮を行っているか	A	
		④掲示板、啓示場所等を適切にかつ効果的に活用しているか	A	
出納経理		①各種会計を適正かつ適切に処理しているか	A	
開かれた保育所づくり	小学校等との連携	①小学校等との交流計画は、保育目標や課題に添ったものになっているか	B	・小学校との連携も深まってきた。交流事業はもっと課題の共通意識をもち、取り組んでいきたい。職員の小学校参観もでき、子どもの様子を共有できた。
		②参観や保育・授業等に参加するなどして小学校等の教育を理解しているか	A	
		③日常的に情報を交換し、それを交流活動にいかしているか	A	
	家庭との地域連携社会	①参観時間を制限せず、保護者以外も対象にした参観日等を設定しているか	—	・保護者以外の参観等は防犯の観点から考えていない。保護者や職員で意見を交換しながら取り組みたい。 ・施設交流は来年度にめどがたっている。
		②保護者を含む地域の人材活用の時期・内容は適切か	A	
		③乳幼児の興味や関心に基づいて地域社会・その他の施設と交流しているか	B	
		④地域の行事に積極的に参加し、地域の文化や生活に触れているか	A	

項目		内 容	評価	意見・改善策
開 か れ た 保 育 所 く り	子 育 て 支 援 の 推 進	①地域の子育て支援センターとして、園庭や保育室等を解放しているか	B	・子育てサロンは月1回行っているが、利用が少ないため保育体験の形をとることが多い。ニーズを考慮し活動内容を工夫する。 ・保護者を対象にした学習は来年度計画を煮詰めていきたい。
		②地域に住む子どもどうし、あるいは親子が一緒に遊ぶことができるような場の設定を行っているか	—	
		③「子育てについて」など、保護者を対象とした学習の機会を設定しているか	B	
		④職員による育児に係る「子育て相談」は充実しているか	A	
		⑤医療機関、児童相談所等の専門機関と連携を図り、保護者にとって必要な情報を提供しているか	A	
	情 報 発 信	①保育所だより・クラス通信・ホームページ等で施設の情報発信しているか	A	
		②行事や子育て支援事業等を地域の連絡会や児童施設、小学校に対して周知しているか	A	
	外部 評価	①外部評価を導入し、施設運営に反映しているか	—	
		②地域や保護者の意見を施設運営に反映しているか	A	

総合評価	評 価 ・ 反 省
A	・ 全体的に評価は高いが、現状のままで甘んずることなく改善していくようにしたい。虐待防止について一人一人がチェックシートを使い自分の保育を見直してきた。感じたことや思ったことが、立場に関係なく言える環境であることが子どもを守る事にもつながると考える。地域の子育て支援センターとしての役割も職種に関係なく、しっかりと自覚していけるよう研修に励んでいく。

園 長	主任保育士
	